

「防災教育～命を守ろう～」



1000か所ミニ集会

防災教育チャレンジプラン

平成22年12月11日(土) 9:30～11:00



開かれた学校づくり委員会が主催する「学校を核とした県内1000か所ミニ集会」が、地域の方々や学校関係者約40名の参加のもと実施されました。

昨年より「地域連携」をキーワードに本校の取組を説明し、地域の方々と情報交換や意見交換を行いました。特に今年度は「地域との連携を深める防災教育公開事業」を実施していることもあり、さまざまな御意見をいただきました。

今年度、本校では「防災教育～命を守ろう～」に取り組みました

	学 校 (生徒・教職員)	地 域
4月	○危機管理対応マニュアル配付 ○避難経路・災害時心得掲示	
5月	○LHR(防災関係) ○アンケート調査	○アンケート調査
7月	○防災講演会(7/14) ○避難訓練(7/15) ○救急講習会(AED)(7/20) ○液状化実験装置作成 ○グラウンドボーリング調査(7/22) ○非常食試食(7/22)	
8月		○防災学習会(8/4・5 予定)
9月	○防災講話(9/1) ○9都県市防災訓練(9/1・9/5) ○白帆祭(9/10・11) 救急講習会(AED)・パネル展示・起震車体験 ○公開LHR(防災教育)(9/29)	
10月	○美浜区民フェスティバル(液状化実験)(10/3) ○地域防災活動の展示(区役所) (10/7～10/28)	
11月	○防災体験談(11/24)	
12月	○アンケート調査 ○1000か所ミニ集会(12/11)	○アンケート調査

◇その他 啓発資料等の配布・防災通信の発行(月1回発行5月～2月)
防災担当者連絡会議の実施(4/30・7/15・8/5・9/29・1/28)

以上のように、地域自治会や生徒・保護者・教職員へ継続的な防災教育啓発をするとともに、地域の災害特性の研究・広報を行いました。

＜成果＞

- ①防災を通じて学校、地域、関係機関とのネットワークが作られた。
- ②学校が、地域に対して防災の学びの場所を提供した。
- ③地域のイベントに参加することで、防災に関する体験を積むことができた。
- ④各クラス防災係を中心に防災意識の向上が見られた。
- ⑤防災に関する知識を学び、自助・共助の考え方を周知することができた。

皆さんは、防災に関する意識や知識を身につけることができましたか？
これからも、「自助」(自分の命は自分で守る)や「共助」(自分たちのまちは自分たちで守る)を心がけていきましょう。

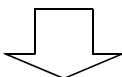
防災豆知識

1月17日…阪神・淡路大震災から16年目を迎えます。

あの未曾有の災害について、神戸でも風化が言われはじめています。

小中学生は震災後誕生した子どもたちです。兵庫県教育委員会は2011年度以降、小中高生向けの新たな防災教育教材を順次作成し、発生から16年となる阪神・淡路大震災の教訓を伝えるとともに、近年大きな被害をもたらした水害や台風など、さまざまな災害から「命を守る力」を身に付ける内容としています。

「命を大切に」「自分の命は自分で守ろう」と繰り返し後世に伝えていく努力が求められています。



災害が起きてからでは準備は間に合いません。日ごろから災害に対するイメージトレーニングをしておきましょう。

千葉県ホームページ → 安全・安心情報 → 防災ポータルサイト

→ 地震被害想定 <http://www.bousai.pref.chiba.lg.jp/portal/higaisoutei/index.html>

地震被害想定ホームページには、「被害想定」「被害イメージ」「身近でできる防災対策」「防災教育」「地域防災力マップ」「被災ストーリー」「被害想定の詳細」など、貴重なデータや身近な資料が掲載されています。

<参考> 阪神・淡路大震災や防災について学ぶために・・・

神戸新聞社 <http://www.kobe-np.co.jp/sinsai/index.shtml>

阪神・淡路大震災以来、神戸新聞社のWebNewsには、大変貴重な資料が掲載されています。

16年間の歴史を振り返る上でも、参考になるサイトです。

神戸新聞の7日間

～命と向き合った被災記者たちの闘い～

昨年1月フジテレビで特別企画の番組がありました。記者たちがみた1.17、写真部記者の報道カメラマンが大震災当時を振り返る形式の資料映像を交えたドキュメンタリードラマでしたが、被災した新聞社で震災当日の夕刊を作成する必死の姿が印象的でした。

舞子高等学校 <http://www.hyogo-c.ed.jp/~maiko-hs/>

兵庫県では阪神・淡路大震災以降、命の大切さ・助け合いのすばらしさなど、震災の教訓に学ぶ「新たな防災教育」を推進してきましたが、それを高校の専門学科で展開しようと、平成14年全国で初めて環境防災科を設置しました。カリキュラムは、新たな防災教育の中心課題である命の大切さや助け合いのすばらしさを縦軸に、自然環境と社会環境を横軸にとって教育課程を編成しています。舞子高校のホームページには、実践事例に基づいた、防災教育についてのさまざまなアイデアや教材がわかりやすく掲載されています。

連絡先：千葉西高等学校（担当：石塚）TEL 043-277-0115

ご存知ですか？

「神戸ルミナリエ」

阪神・淡路大震災の犠牲者を追悼し、まちの復興を願って1995年から毎年12月に神戸市中央区の会場で行われている光の彫刻です。

平成22年16回目のテーマは「光の心情」。開催初日と最終日に雨が降ったことも影響し、12日間の来場者は343万4000人と昨年より21万6000人下回ったそうです。

組織委員会では運営経費を募金で補っており、今回約6389万円が集まったものの、昨年より760万円少なく、来場者の減少と不況が影響しているとみられています。今後の継続開催に影響があるかもしれません。